

新しい発行物のご紹介

昨年度の公民館の取り組みなどをまとめた冊子ができました。
お読みになりたい方は、差し上げますので、公民館へお気軽にお
問い合わせください（数に限りがあります）。公民館図書室でも閲
覧できます。冊子をお読みいただき、ぜひ今年度の取り組みにご参
加ください。

聞ける！学べる！遊びにいける！ 「こども・わかもの くにペディア」

第2版 発行!!

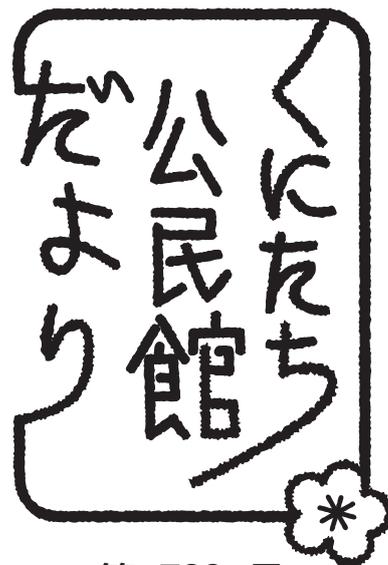
- ・居場所やサポート場所がより増えて充実しました。
- ・西地域・矢川地域・子ども食堂を新たに掲載しました。



この度、2018年3月に作成した「こんな時はどうしよう？」を助けるマップ付き百科事典「こども・わかもの くにペディア」第2版を発行しました。

「国立には楽しいところがある。」「楽しいことを広める人もたくさんいる。」そんなことを考える人たちが公民館とNHK学園高等学校共催の「つながりワークショップ」に参加して、このくにペディアは完成しました。

今回の改訂は発行後2年が経過



第 723 号

2020年5月5日

(令和2年)

「くにたち公民館だより」
ホームページのQRコード▶



発行

国立市公民館

〒186-0004
国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

新型コロナウイルス感染症対策に伴う 公民館休館及び講座等の中止について

新型コロナウイルス感染症対策としまして、公民館は、ただいま休館とさせていただきます。今後の状況によっては、開館日や開館時間を変更する可能性があります。開館（閉館）の詳細につきましては、決定次第、公民館入口のガラス扉に掲示、およびホームページにも掲載いたしますのでご参照ください。



また、公民館だより掲載の講座・イベントを中止・延期、または受付方法を変更する可能性があります。変更につきましては、ホームページをご参照ください。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

ご不明な点はお問合せください。

公民館 ☎ (572) 5141

今月の公民館 (5月、6月初)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 14日(木) 夜 くにとちブッククラブ
西加奈子「i」
- 23日(土) 昼～ 初心者 山部
青年講座「目指せ、東京の高い山！」
- 24日(日) 昼 図書室のつどい
「日本人はどこから来たのか～サピエンス日本上陸
3万年前の大航海を探る～」
- 30日(土) 昼 人権講座
「いじめを生む教室～子どもを守るために知って
おきたいデータと知識～」
- 31日(日) 昼～ 院生講座
「60年代以前のチェコスロヴァキア映画
—映画『鳩』が映すもの—」
- 31日(日) 昼 ^{シネボックス} CINEVOX 公民館映画会
『小さな恋のメロディ』
- 6月7日(日) 昼～ はじめての銅版画
—Etching Work Shop—

し、新しく地域で活動を始める方がいるなどの変化をうけて行われました。編集にあたっては、市民の方、NHK学園高等学校の皆さんと一緒に、新たに編集会議を立ち上げ、実際に活動している所に足を運びました。

作成にあたっては、地域で子ども・若者向けの居場所や学習活動、保護者などの支援を行う様々な団体の取り組みを調べました。これも食堂が西地区、矢川地区に増えて、地域ネットワークの広がりが見られました。活動する団体も前回の40団体から43団体に増えたので、①相談する②学ぶ・働く③遊ぶ・集まる④食べるの4つに分けて掲載しました。さらに旧国立駅舎が駅前に戻ってくることを受けて、表紙のデザインに取り入れました。

編集会議やアンケートでは、子どもや若者が様々な団体の活動を通して変わっていく姿や、そこに関わる大人たちがいきいきとしていく姿なども語られました。

子どもの貧困や不登校、若者のひきこもりなどの実態が見えてくる今、こうした支援のネットワークの維持や強化をしていくためにもぜひ活用してもらえたらと思います。

4月後半から、市内公共施設等で配布を開始しております。ぜひ手にとってご覧ください！

〔配布場所〕

市役所、公民館、中央図書館、郷土文化館、北・南市民プラザ、国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ、旧国立駅舎、中央児童館、西児童館、矢川児童館、子ども家庭支援センター、福祉会館、NHK学園高等学校
*公民館のホームページからもダウンロードできます。



第64回 くにたち市民文化祭記録集



秋の文化祭に参加した団体が、催しの成果を報告しています。

市内で文化・芸術活動をしている方々の文化祭での写真も多く載っています。ぜひ、ご覧になり、文化祭にご参加ください。日ごろのグループ活動の成果を文化祭で発表してみませんか？

くにたちブッククラブ文集

「言葉に寄りそい時間を超えよ」



くにたちブッククラブでは、毎年講習終了後に参加者による手作りの文集を作っています。共同で読むことで深められた読みや気づきが綴られています。

講師の大野亮司さんによる講義録も掲載しています。

今年度は5月14日(木)から始まりです。詳しくは3ページをご覧ください。

はじめての銅版画 — Etching Workshop —

講師 山本 佳奈枝 (銅版画家)
さかた きよこ (銅版画家)

興味はあるけど、難しそう？ どうやって作るのかな？ そんな疑問に応えながら銅版画創作を楽しむ、初心者向けのワークショップです。銅版画ならではの繊細な線で小さな作品を創ります。集まった仲間とともに作業の時間を楽しみながら、作品を創ってみませんか。出来上がった作品はロビーで展示する予定です。

銅版画(エッチング)とは、銅板に描いた絵を腐蝕させて版を作り、できた凹部にインクを詰めて紙をのせ、プレス機で刷って作る版画です。

とき 6月7日、21日、7月5日、12日
いずれも日曜日
昼2時~5時

ところ 公民館 3階実習室
定員 10名(先着順)
対象 原則全回休まずに

出席できる方、市内在住、在学、在勤、はじめて参加する方を優先します。

材料費 1,000円(ニードル、銅板、版画紙など)
持ち物 8×10cmの下絵(タテヨコ自由)、エプロン(よごれてもよい服装)、筆記用具

申込先 5月19日(火)朝9時~
公民館 ☎ (572) 5141



〈院生講座〉

60年代以前のチェコスロヴァキア映画

—映画『鳩』が映すもの—

講師 富重 聡子 (一橋大学大学院生※)

1960年、チェコスロヴァキア(当時)で公開された映画『鳩』。少年と鳩を巡る、映像と音の実験に満ちた映画です。冷戦期にもかかわらず、東西両陣営の映画祭で等しく好評を得た稀な作品の一つでした。なぜこの映画は分断を超えて成功できたのでしょうか。

鳩、という形象が平和のシンボルとして定着してきたこのころ、映画『鳩』は銀幕に何を映したのか、人々はそこに何を投影したのか。本作で長編デビューを飾った巨匠ヴラチル監督による、画面構成やイメージの扱いに技巧を凝らした映像をご覧いただきながら、現地の戦後映画史をふりかえり、知られざる映画の魅力を探ります。

とき 5月31日、6月14日(全2回)
いずれも日曜日、昼2時~4時

ところ 公民館 3階集会室

定員 25名(申込先着順)

申込先 5月14日(木)朝9時~
公民館☎(572)5141

※一橋大学大学院生による講座

国立市内の一橋大学では、研究者を目指す大学院生が日夜研究に励んでいます。そこで公民館が架け橋となり、若手研究者と地域社会との交流講座を続けてきました。最新の研究動向に触れるもよし! 修行中の院生にアドバイスするもよし! 院生が講師となって専門分野をご紹介します。

〈くにたちブッククラブ 空間を超えて世界と向きあう文学〉

西加奈子「i」

(ポプラ文庫)

講師 紅野 謙介 (日本大学・日本近代文学)

とき 5月14日(木)夜7時半~9時半

ところ 公民館 3階講座室

申込先 公民館☎(572)5141

*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が「読み」を出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。



一年間、さまざまな作品を通して「読み」を深めています

〈人権講座〉

いじめを生む教室

~子どもを守るために知っておきたいデータと知識~

講師 須永 祐慈 (NPO法人ストップいじめ!ナビ)

「いじめ問題」を解決するために必要な知識とは何か。いじめによる悲惨なニュースが報じられ、そのたびに多くの議論が交わされますが、その中には具体的な根拠に欠けるようないじめ理論も見られます。また、加害者・被害者でなくても、傍観者としていじめを目にすることはあり、誰にとっても身近なことと言えます。

「自分の頃はこうだった」「そんなのいじめじゃない」など、身の周りの大人や親がもつ独自のいじめに対する考え、さまざまないじめ観が存在する中で、子どもが置かれている状況やいじめの兆候を見逃してしまう……それでは、子どもから見ると、大人は逃げたと感じ、頼りない存在になってしまいます。

いじめが社会問題化して以来30年以上になりますが、日本でも世界でも数々の研究が行われてきました。

今回の講座では、そうした研究データを紹介しつつ、本当に有効ないじめ対策とは何か、考えてみたいと思います。

とき 5月30日(土)午後2時~4時

ところ 公民館 地下ホール

定員 30名(申込先着順)

申込先 5月13日(水)9時~
公民館☎(572)5141

〈図書室のつどい〉

『日本人はどこから来たのか』

~サピエンス日本上陸 3万年前の大航海を探る~

講師 海部 陽介 (国立科学博物館)

3万年以上前、地図もコンパスもない時代に、私たちの祖先はいかにして広い海を渡り、日本列島に上陸したのか。世界最大の海流「黒潮」を、どうやって越えたのか。そういった大きな謎に迫るため、専門家が集まり、命がけの実証航海を行いました。そこには、人類史におけるどのような発見があったのか。実証航海プロジェクトリーダーの海部さんをお招きして、「日本人はどこから、どのようにやって来たのか」その謎に迫り、挑戦の歴史の一端を覗いてみたいと思います。

〈海部さんの主な著書〉

『サピエンス日本上陸 3万年前の大航海』(講談社)、『日本人はどこから来たのか?』(文藝春秋)ほか

とき 5月24日(日)朝10時~昼12時

ところ 公民館 地下ホール

定員 30名(申込先着順)

申込先 市内在住者 5月12日(火)朝9時~
市外在住者 5月19日(火)朝9時~
公民館☎(572)5141



親子で遊ぼう・考えよう

～これまでの『親子で遊ぼう・考えよう』～

2019年度(カッコ内は開催場所)

- 第1回 部屋いっぱいの500個の風船で遊ぼう!
(公民館)
- 第2回 プラネタリウムで星を見よう!
(桐朋中学・高等学校)
- 第3回 敬老の日、アート絵はがきを作って送ろう!
(公民館)
- 第4回 300個の洗濯バサミ、紙コップで遊ぼう!
(南市民プラザ)
- 第5回 アルミホイルコイン作り&館内宝探しゲーム!
(公民館)

*この講座は、さまざまな遊びをとおして子どもとふれあい、他の親子や異年齢の子どもたちとの交流を通して、大人として、保護者としてすべきことは何かを感じ取り、考えていく機会となるよう実施しています。



〈部屋いっぱいの500個の風船で遊ぼう!〉
みんなで協力して風船をふくらまします

アンケート結果より(抜粋)

- 第1回 部屋いっぱいの500個の風船で遊ぼう!
ビニールもこんなに楽しい遊び道具になるなんて思いませんでした。赤い風船が気に入ったようで、家でも何かしてあげたいと思います。
- 第2回 プラネタリウムで星を見よう!
自分の知っている星座を探しながらあっという間の楽しい時間でした。
- 第3回 敬老の日、アート絵はがきを作って送ろう!
今までしたことのない表現方法を学べて面白かったです。

- 子どもの感性にも何かひびくものがあれば良いなと思います。
- 第4回 300個の洗濯バサミ、紙コップで遊ぼう!
とても楽しく参加させて頂きました。子供が色々アイデアを考えていくのを見るのがおもしろかったです。
- 第5回 アルミホイルコイン作り&館内宝探しゲーム!
探すのと隠すのと作るのどれが楽しかったか子供に聞いたところ、「ぜんぶ」と満足気に話していました。親は作るのが楽しかったです。



〈300個の洗濯バサミ紙コップで遊ぼう!〉
紙コップでタワーを作っています

親子で遊ぼう・考えよう 1000枚の部屋いっぱいの新聞紙で遊ぼう!

2020年度
第1回

身近な素材である新聞紙をたくさん使って親子、参加者みなさんで体を動かしたダイナミックな新聞紙遊びをしましょう。丸めたり、破ったり、貼り付けたり、舞い上がらせたり、親子で遊びを楽しみましょう。

講師 山田 修平
(NPO法人東京学芸大こども未来研究所)

とき 5月31日(日)朝10時~12時
ところ 公民館 地下ホール
持ち物 ハンドタオル、飲み物、動きやすい服装
対象・定員 子ども(2歳以上~小学生低学年)と保護者
16組(申込先着順)
申込先 5月12日(火)朝9時~
公民館 ☎(572) 5141



〈敬老の日、アート絵はがきを作って送ろう!〉
うまく色づけが出来たかな



初心者 山部 参加者募集

青年講座 「目指せ、東京の高い山！」



「初心者から始める山」をコンセプトに2011年から若者で企画して、装備から山登りまでを座学とミーティング形式で学び、話し合っ



て山へ行きます。あくまでも初心者から始める山なので、山に興味のある方、国立へ引っ越したばかりで知り合いや友達を作りたい方、まずはミーティングへ来てみませんか？

一緒に山へ行きましょう。

- 1回目 5月23日(土) 昼3時～5時
参加者と一緒に山についてのミーティングをします。
- 2回目 低山へ。初回でみなさんと決めていきます。
- 3回目 東京の高い山へ。

ところ 公民館 1階青年室
対 象 高校生～30歳代の方まで
定 員 10名
申込先 5月12日(火) 朝9時～
公民館☎(572) 5 1 4 1

第65回 く に たち 市 民 文 化 祭 開催に向けて準備中です！

く に たち 市 民 文 化 祭 は 参 加 団 体 の 皆 さ ん が 主 体 と な っ て 実 行 委 員 会 形 式 で 開 催 し ま す 。 ど う す れ ば よ い 文 化 祭 に な る か 、 各 々 の 参 加 団 体 が 知 恵 を 出 し 合 い 、 手 を 貸 し 合 い な が ら 準 備 を 進 め て い き ま す 。

公民館だより4月号でお伝えした第一回実行委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となりました。

これまでとは異なる段取りで進めていくこととなりますが、参加団体全員で協力して今秋に開催できるよう、準備していききたいと思います。

【第1回 文化祭実行委員会】
と き 6月18日(木) 夜7時～
と ころ 公民館 地下ホール
連 絡 ・ 問 合 先 公民館☎(572) 5 1 4 1



実行委員会(地下ホールにて)



文化祭式典(市民ロビーにて)

シネボックス 公民館映画会
『小さな恋のメロディ』
Melody
1971年 イギリス カラー106分 ※DVD版

監督 ワリス・フセイン 製作 デヴィッド・バットナム
脚本 アラン・パーカー 音楽 ビージーズ
出演 マーク・レスター、トレイシー・ハイド、
ジャック・ワイルド ほか

「ぼくたち結婚します！だって愛し合っているんだもの」11歳のダニエルとメロディが両親や教師たち大人に対してそう宣言したこと



き起こる大騒動！思春期の少年少女の初々しく純粋な恋愛模様を爽やかなタッチで描き出した青春映画の名作。ビージーズが歌う主題歌「メロディ・フェア」は今なお歌い継がれる不朽の名曲です。

と き 5月31日(日) 昼2時～(開場昼1時)
と ころ 公民館 ホール
定 員 30名(申込先着順)
申 込 先 5月26日(火) 朝9時～
公民館☎(572) 5 1 4 1

*コロナウィルス感染拡大防止のため、事前申し込み制としています。

公民館2年度予算について

公民館予算は、1億2,454万5千円で内訳は表のとおりです。前年度と比較して5,437万4千円の減額となりました。

主な理由は、公民館外壁補修改修工事終了による減額です。その他の予算はほぼ例年どおりとなりました。

公民館費の当初予算内訳 単位：千円

科目	元年度予算	2年度予算	比較増減
公民館総務費	146,930	95,446	-51,484
人件費	51,597	54,453	2,856
維持管理費	95,333	40,993	-54,340
公民館事業費	31,989	29,099	-2,890
主催事業費	17,103	15,121	-1,982
広報費	6,781	7,562	781
図書室費	3,766	3,286	-480
若者支援費	4,339	3,130	-1,209
計	178,919	124,545	-54,374

一般会計予算

319億7,500万円(前年度比15億1,000万円増)

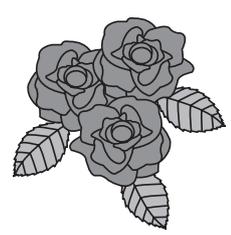
教育費総額

33億5,863万円(前年度比5億7,355万5千円増)

公民館費

1億2,454万5千円(前年度比5,437万4千円減)

ひろば



アクアかもめ水泳会員募集

運動不足の方、健康な体づくりに水泳を始めてみませんか。初心者～上級者、泳力別にコーチの指導を受けて泳ぎます。男女問いません。体験可。(無料)
日時 毎週金曜日 朝10時～12時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 中山(57) 2063

数学を楽しむ集い(5月期)

五月は、分銅パズルの解き方や幸運数について御紹介します。意外な結果に驚かれるとともに、数学を身近に感じていただけます。気軽にお越し下さい。
日時 5月16日(土)30日(土)昼1時～
場所 公民館 集会室
連絡先 山本(57) 1028

「ひろば」欄投稿規定

市内の団体・グループ活動のお知らせの場です。原稿の締切りは、掲載希望月の前月7日の午後5時です。(7日が月曜日の場合は、翌日の8日まで)。原則として掲載月の7日から翌月6日までのお知らせを掲載します。公民館備付けの原稿用紙に団体名・サークル名を含めてお書きください。氏名には振りがなをふってください。会員募集は6カ月に一回掲載することがありますが、紙面の都合により翌月掲載とすることがありますので、ご了承ください。

会場調整会のお知らせ

5月2日(土)に開催予定だった会場調整会は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う休館のため中止とさせていただきます。

6月分の会場申込の方法につきましては、決まり次第、公民館入口ガラス扉やホームページでお知らせいたします。

当面の間、調整会へのご参加はできるだけ1団体1名の方が、うがい・手洗い・マスク着用等の感染症対策のうえ、第1希望が取れなかった場合の別の候補日や会場も想定して、活動日を決定できる方がご参加ください。

今後の動向によっては、6月以降の調整会についても変更になる可能性があります。公民館正面玄関に掲示またはホームページにてお知らせいたしますので、ご確認ください。



すでに5月分の会場を申し込まれている団体は、今後、公民館の開館日や開館時間に、変更の可能性がありますので、ホームページをご覧ください。
5月7日(木)以降にお問合せください。

ご不明の点はお問合せください。
公民館 ☎ (572) 5141



〈サークル訪問343〉 くにたち江戸庶民の暮らしを識る会

この会は、大学通りのカナイシユーズの前ご主人が浅草・木馬亭で「浅草21世紀の喜劇公演」を観た時の出会いから始まった。その脚本を書かれた芸能や江戸に詳しい稲田和浩さんを知り、「この人はいいい！江戸庶民の暮らしなどの話をしてもらおう」と始めたそうだ。4年前から公民館を会場に開催している。

稲田さんは、落語や浪曲、講談など大衆芸能の脚本家で、落語や江戸文化関連の著書も二十冊を超え、文京学院大学で芸術学の非常勤講師も務めている。

江戸の市井の暮らしがどのようなものだったのか、会での稲田さんの解説に、皆が引き込まれる。当時は男8割女2割の男性社会。江戸っ子は米を食べるのがステータスだったので、ケチな人でさえおかずは節約しても米は食べていた。野菜などは店で買うのではなく、旬のものを担いで売りに来る小商人がいた。米屋や酒屋は品物を届けてくれて、しかも貸し売りで月末払い。払えなかったら一ヶ月待たされた。お互いに家族構成まで知っているという信頼関係で暮らしが成り立っていた。



講師の話に、皆引き込まれて

そんな話が毎回いろいろなテーマで繰り広げられている。
今回のテーマは、神田松之丞の活躍で注目されている「講談」。舞台上に机があるのは何故? から始まり、元禄時代より始まった大衆語り芸の講談の演目、歴史など幅広く解説された。
参加者には卒論で講談について取り組んだという詳しい方もいて、関心度の高さが伺われた。現代で失われた、地域での助け合いの暮らしを振り返るきっかけにもなりそう。興味のある方はご参加を。
日時 年4回 次回は5月30日(土) 午後7時
場所 公民館
連絡先 峯岸090(634) 5829
中島080(5466) 6180
〈文・写真 稲田美緒〉